

1. 授業の概要(ねらい)

日本に住むわたしたちにとって、フランスという国は身近なようで遠い国である。わたしたちは食事、ファッション、芸術、スポーツなどを通してフランスに触れる機会を持っているが、それを通して見るフランスは一面的なものだろう。本授業ではフランスの歴史を学ぶことで、フランスの新たな一面を発見することを目指す。

本授業ではフランス革命以後の歴史を、外国人・移民差別という観点から学んでいく。いわば本授業で取り上げる歴史はフランスにとっての「負」の歴史である。

また授業中には、今日のフランスで話題の出来事やニュースを適宜紹介していくので、歴史だけではなく今のフランスについても関心を持ってほしい。

2. 授業の到達目標

- ① 中学・高校時に学んだ世界史から発展した歴史的知識を身につける。
- ② 歴史的な出来事について主体的に関心を持ち、調べる姿勢を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

リフレクションシート(20%)、小テスト(20%)、期末試験(60%)

4. 教科書・参考文献

教科書

各テーマについての参考文献は授業中に紹介する。

参考文献

剣持久木編著 『よくわかるフランス近現代史』2018年 ミネルヴァ書房

5. 準備学修の内容

関心を持ったテーマについて複数の研究(書籍・論文)を各自読むこと。
小テストは事前に告知せず行うので、授業内容の復習は欠かさないこと。

6. その他履修上の注意事項

授業の妨げとなるような行為を行った場合、授業への出席を禁じる。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
- 【第2回】 フランス史の概略——フランス史の表側
- 【第3回】 フランスにおける「黒人」差別についての映画鑑賞
- 【第4回】 ヨーロッパの世界進出——植民地と奴隷制の発展
- 【第5回】 フランス革命と外国人——国民の誕生と外国人への不信任
- 【第6回】 植民地帝国の誕生——フランス革命後に世界に広がる植民地
- 【第7回】 固定されていく黒人差別とユダヤ人差別
- 【第8回】 フランスにおけるユダヤ人弾圧についての映画鑑賞
- 【第9回】 ヴィシー政権の成立——正当な後継国家?ドイツの傀儡?
- 【第10回】 ヴィシー政権におけるユダヤ人弾圧
- 【第11回】 第二次世界大戦後の脱植民地化の動き——植民地の独立はなにをもたらしたのか?
- 【第12回】 アルジェリア戦争のインパクト——新たな移民問題の発端
- 【第13回】 移民が活躍するフランス——移民が多くを占めるフランス代表によるサッカー・ワールドカップ優勝
- 【第14回】 21世紀のフランスにおける移民問題——スカーフ問題からシャルリー・エブドまで
- 【第15回】 まとめと試験